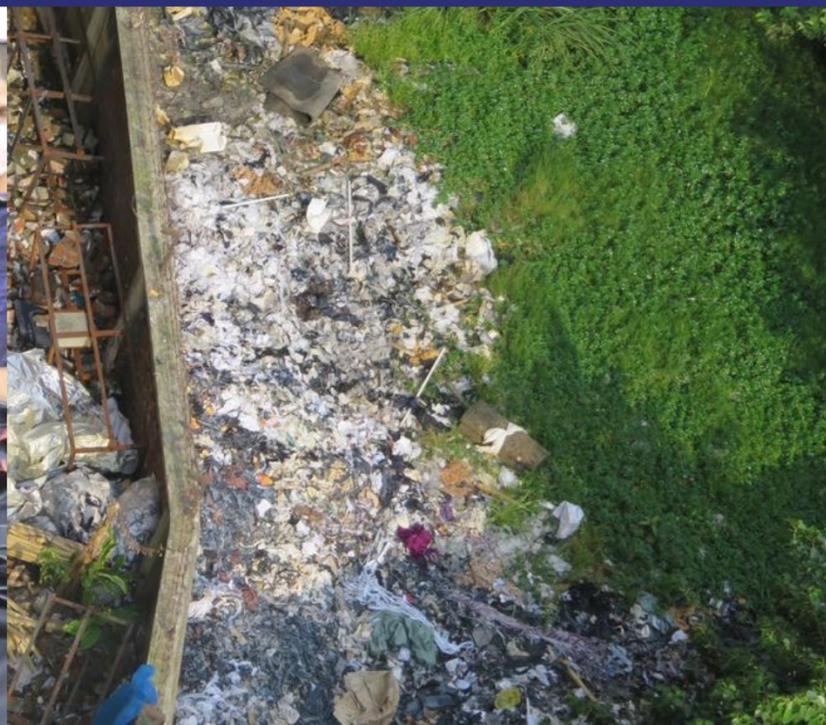


# 【ファッションと環境】

## 服の旅人

-好きな服と出逢うために-

谷 裕介





TANI

YUSUKE

谷 裕 介

俳優・モデル・ファッションプランナー

1993年3月24日、石川県生まれ。東京育ち。  
ファッションという美しい花を咲かせる為には、社会的土壌を再考する必要がある。  
に対する意識を消費者が持ち、種を播くことのできる社会を共創することを目的とする。  
国内外で、服育活動やファッションデザイン、ファッションイベントのプロデュースも手掛ける。

# イントロダクション



ファッションに対して、  
受動的であった消費者は、  
情報化社会の成熟と共に、  
主体的な生活者へと変貌を遂げている。

そうした中で、ファッションに重要なことは、  
明確な意見や主義を持つことではないか。  
それを「ファッション・プリンシプル」と定義し、  
多様な視点から、ファッションが持つ潜在性を  
豊かにしていきたい。

そのために、ファッションモデルとして  
服育活動やファッションデザインを手掛けている。

# 今日の講義ポイント

- ① 今、みんなが着ている服は、どうやって作られているんだろう。
- ② ファッションと環境問題の関係性は、どこなんだろう。
- ③ みんなとファッションの関係性を買い物から、考えてみよう。
- ④ みんなの理想の服を想像してみよう。



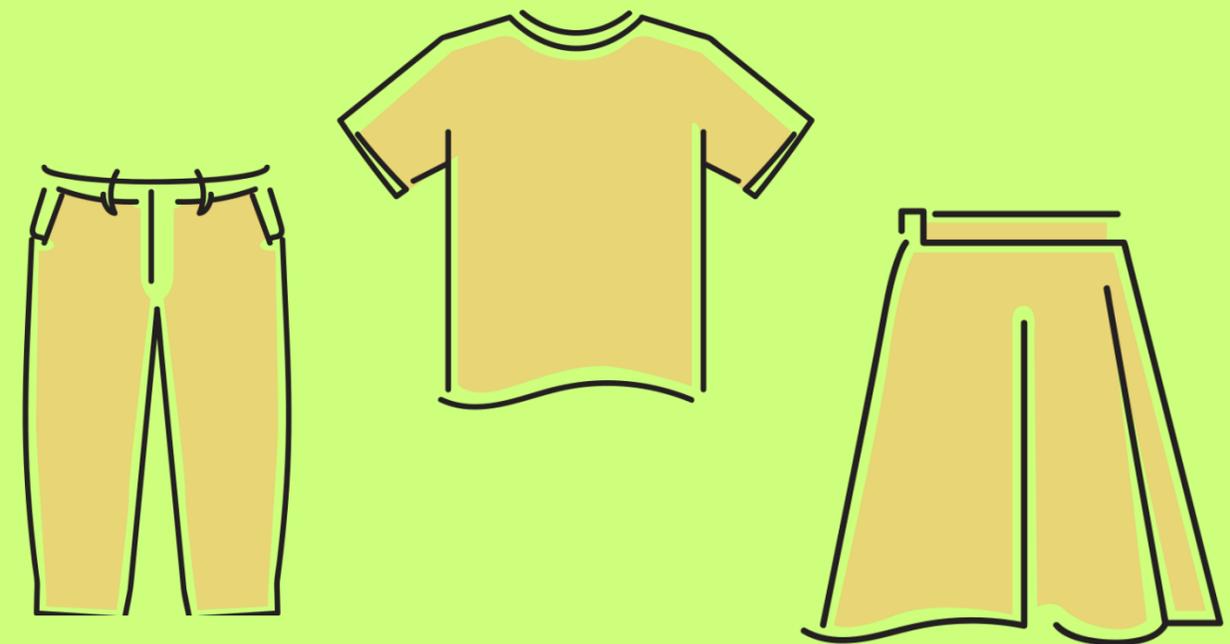
確認作業



記入作業



言語作業



# バングラデシュとの出会い



大学院生のときに洋服のタグに書かれた  
「Made in Bangladesh」の文字から、

バングラデシュに飛び、現地で出会った人を辿って、  
どうにかこうにか縫製工場に潜入調査をした。

そのきっかけは、  
あるファストファッションのお店で聞こえてきた、

「1,900円だから買おうかな」  
「いいじゃん、1,900円だし」

という、ワンピースを手にした女子高生たちの会話でした。



# 洋服のタグチェック

表地	
レーヨン	51%
毛	44%
ナイロン	5%
裏地	
ナイロン	100%

○○繊維(株)  
 ○県○市○町1-2

---

**中国製**

表地	
レーヨン	51%
毛	44%
ナイロン	5%
裏地	
ナイロン	100%

○○繊維(株)  
 ○県○市○町1-2

---

**中国製**

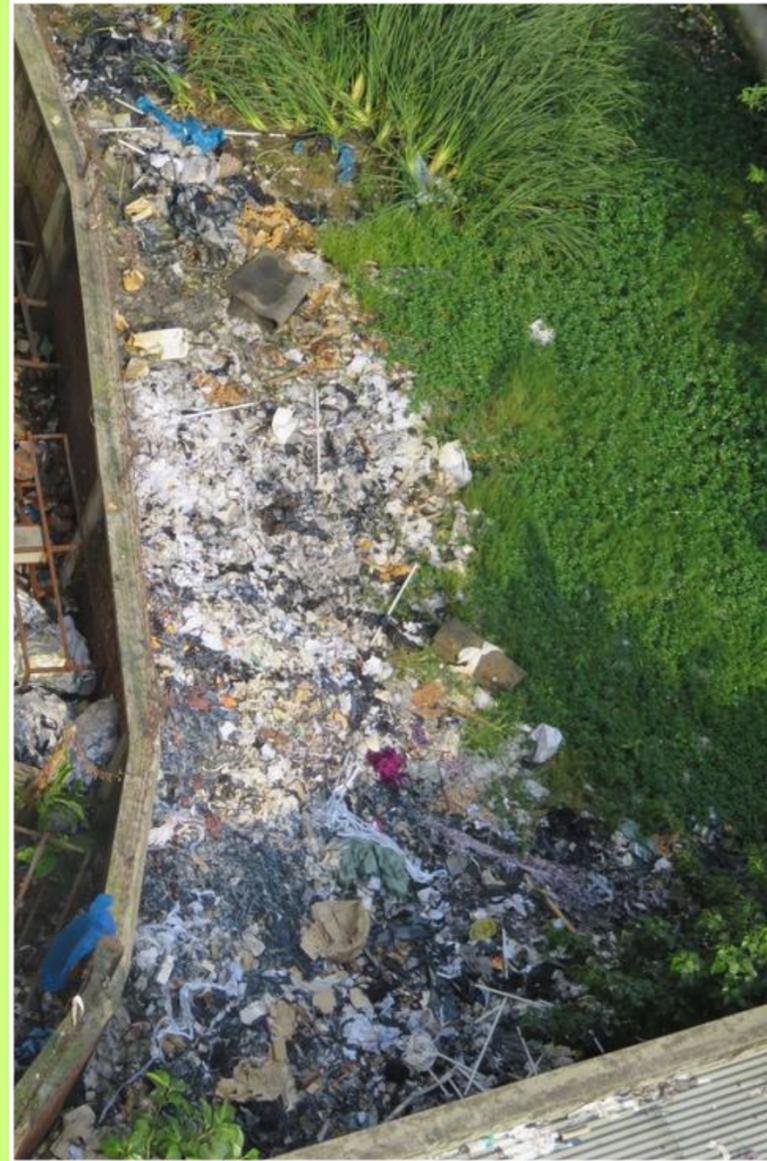
①紫枠は原産国。「Made in ○○」もしくは○○製を確認してみよう！  
 ※衣料品の材料の産出国ではない  
 →日本で産出された材料を使用し、中国で縫製された製品の場合だと「中国製」と明記される。

②赤枠は、取扱い絵表示

③青枠は、組成表示  
 (この繊維製品は、何と何の繊維が入っているかが表示されている)

④緑枠は、表示者名。(責任の所在を表示)  
 ※電話番号の表示をしないところが増加

# バングラデシュとの出会い



実際に訪れたバングラデシュで、  
「本当に僕らの着ている服を作っているの？」と思った。

ストリートチルドレンと頻繁にすれ違う街。  
雨季になれば、廃棄物が詰まり、川ができる。  
子どもたちは、理由も知らず、泳ぐ。  
また、縫製工場を訪ねれば、大量生産によって生まれた  
服の端切れが、この土地に廃棄されて環境問題となっていた。

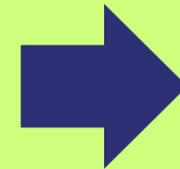
流行の最先端を安く早く提供する、  
華やかなファストファッションのイメージとは  
かけ離れたものを感じた。

# Bangladesh との出会い

彼らが着ない服を彼らは作っていた



彼らが作った服は日本に届いていた





2013年4月24日、午前8時45分  
死者1134人、負傷者2500人以上  
首都ダッカで  
「ラナプラザ崩壊事故」が発生  
世界的にみても例のない労働災害

ビルの崩落予兆は、前日からあった。  
ビルに大きな亀裂があった。  
警察は、翌日の操業中止を勧告。  
当日の朝、3639人の工員は、  
壊れそうな建物に入ることを拒否した。  
しかし操業は強行された。  
午前8時、いつもどおり工員は  
仕事を始めた。  
しかし、そのわずか、45分後、  
電気は消え、8階建てのビルは  
瞬く間に崩れ落ちていった。

# アパレルの構造（生産者と消費者の関係）

- ①アパレル＝売れるものを作りたい
- ②物作りのコストを抑えたい

この背景には、ネット通販などの浸透によって  
どの商品が売れているか分かる

- ③その結果、同じデザインで  
同じ価格の服が増えていく

↓  
消費者は価格優位で比較し、  
購買するようになってしまった



# SDGsとは

SDGsとは

サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズ

僕の先生、佐藤寛先生の合言葉

S すごく D 大胆な G 指きりげんまん

SDGs→このままでは地球がやっていけない!!

だからみんなと一緒に、

経済の姿、社会の姿を変えましょうという約束

2016年から2030年までの間に、私たちの社会の姿

を持続可能なものにしよう=SDGs

その中には貧困削減、地球環境の維持、それ以外

に私たちの生活の変化も含む



# SDGsとファッションの関係



具体的な目標とファッションの関係をまとめてみました

1. 目標1: 貧困をなくそう
  - フェアトレードの促進や生産者の賃金向上により、貧困削減に貢献
2. 目標3: すべての人に健康と福祉を
  - 労働環境の改善や有害化学物質の削減により、労働者の健康と福祉を向上
3. 目標5: ジェンダー平等を実現しよう
  - ファッション業界では、多くの女性が働いている。ジェンダー平等を推進し、女性のエンパワーメントを図ることが重要
4. 目標8: 働きがいも経済成長も
  - 労働者の権利を守り、安定した雇用と働きがいのある職場を提供することで、持続可能な経済成長に寄与する
5. 目標12: つくる責任、つかう責任
  - サステナブルな素材の使用、リサイクルの推進、廃棄物の削減などを通じて、持続可能な生産と消費を実現
6. 目標13: 気候変動に具体的な対策を
  - 環境に優しい生産プロセスを採用し、カーボンフットプリントの削減を目指す
7. 目標14: 海の豊かさを守ろう
  - マイクロプラスチックの排出を減らすため、海洋に有害な物質の使用を避ける
8. 目標15: 陸の豊かさも守ろう
  - 森林伐採を減らし、持続可能な原材料を使用することで、陸上生態系の保全に貢献

# SDGsとファッションの関係

ファッション産業は、製造から廃棄に至るまで多くの二酸化炭素を排出してしまう。

服の一生を考えてみると

企画→製造→輸入→販売→利用→廃棄

日本では、小売業で販売されている服の98パーセントが海外からの輸入。

12 つくる責任  
つかう責任





環境省HPより  
[\(https://www.env.go.jp/policy/sustainable\\_fashion/\)](https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)

# ファッションの素材

色々な素材が混合されて作られる衣服



## サステナブルファッション：

衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人、社会に配慮した取り組み。



谷裕介×armi 『服の“R”に触れる』 パシフィコ横浜

### 【残布】 Zan;p T CREW - WHITE

#### 残布とは一

生地を編むとき、縫製するとき、生産過程において出てしまう半端な生地の残りを言います。

通常は、流通にのらず廃棄されてしまいますが、半端なだけで、生地自体のクオリティーに問題はなく使える残り布です。

What is the remaining cloth?

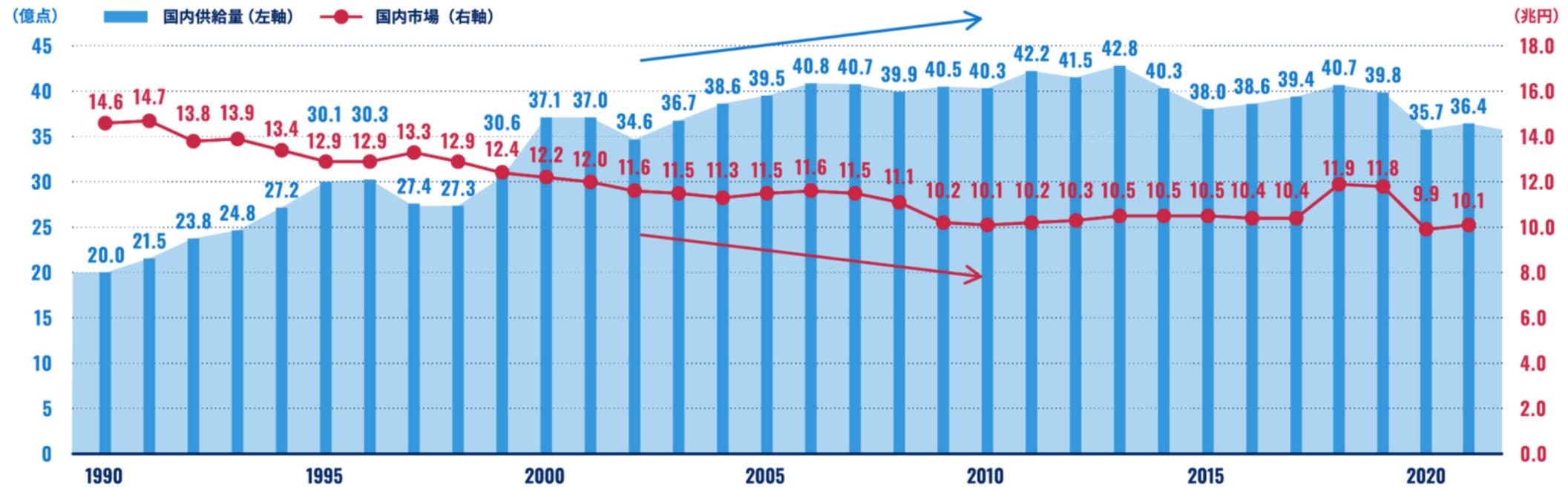
When knitting dough, when sewing, it comes out in the production process

I say the rest of the dough.

Normally, it will be discarded without being circulated, but it is the remaining cloth that can be used with no problems in the quality of the fabric itself, just by being half-ended.

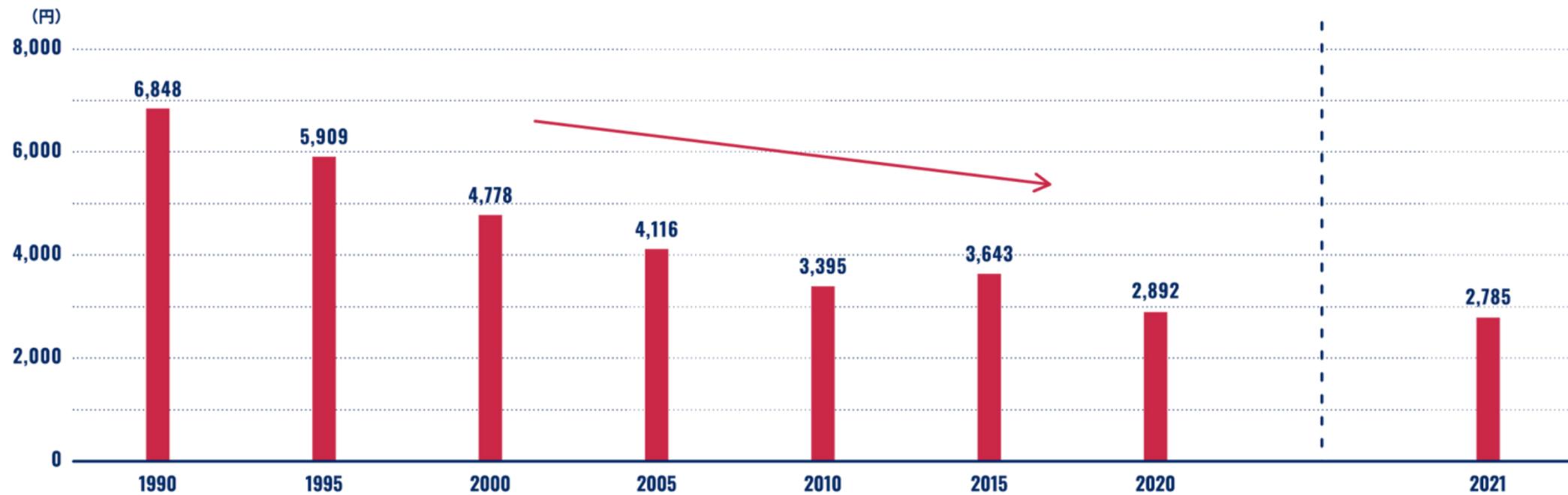


## 国内アパレル供給量・市場規模の推移



日本繊維輸入組合「日本のアパレル市場と輸入品概況」、矢野経済研究所「繊維白書」より

## 衣服一枚あたりの価格推移



総務省「家計調査」より



日本円で2キロ  
1700円



1人あたり（年間平均）の  
衣服消費・利用状況について考えてみよう!!

- ① 購入枚数
- ② 手放す服
- ③ 着用しない服

ちなみに、服を手放すときは、どんな風に行っているかな

# 1人あたり（年間平均）の 衣服消費・利用状況について考えてみよう!!

購入枚数

 約**18**枚

手放す服

 約**15**枚

着用されない服

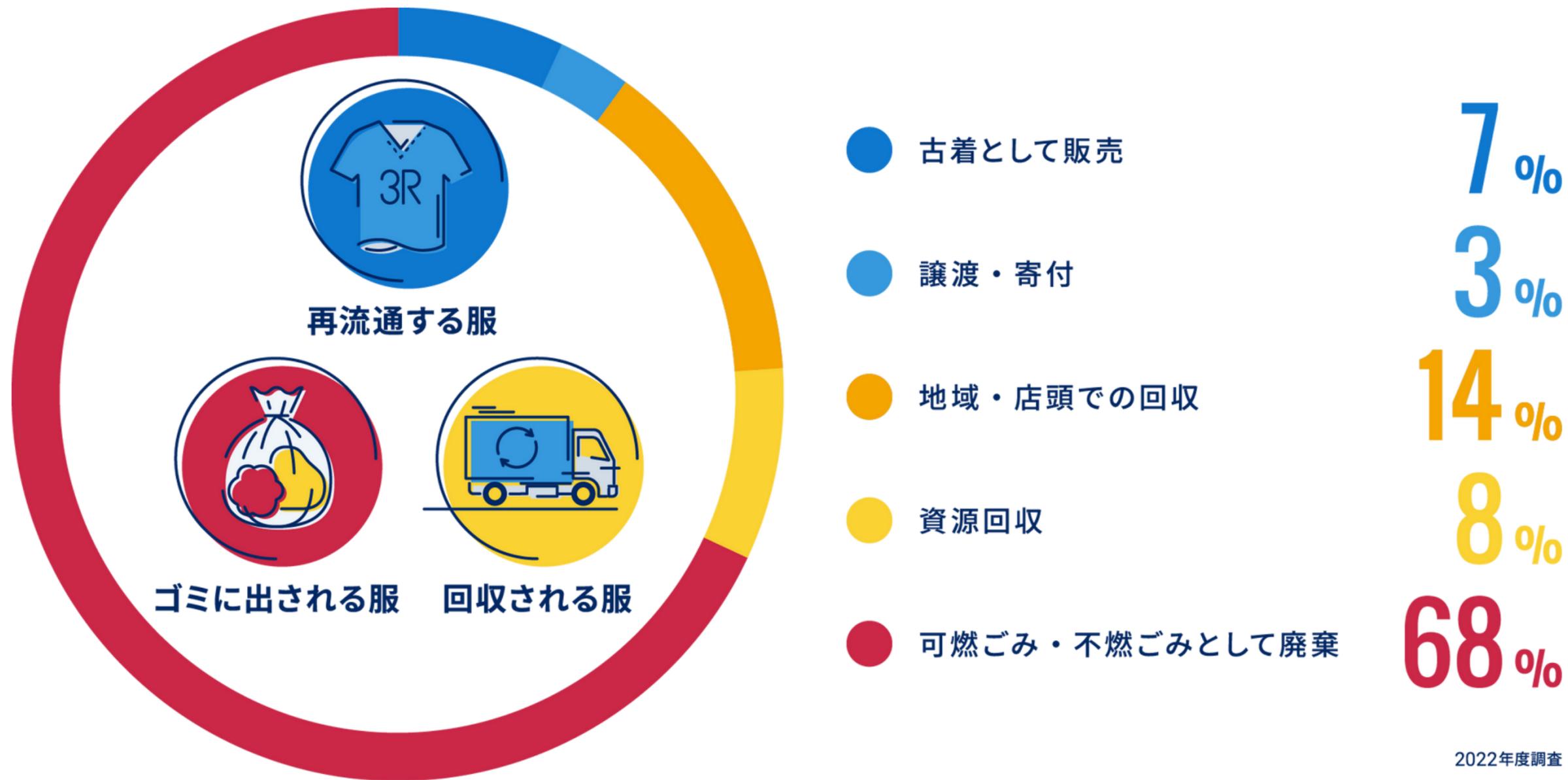
 **35**枚

2022年度調査

手放す枚数よりも購入枚数の方が多く、  
一年間一回も着られていない服が一人あたり35 着もある。

**ファッションの短サイクル化や低価格化が  
より多くの服を生み出し、消費されることにつながる。**

# 服を手放す手段の分布



服を手放す手段は大きく分けて三つ。

一つ目は、リサイクルショップやフリマアプリ等を通じ古着として譲渡や売却すること。

二つ目は資源として、または地域や店舗で回収してもらうこと。三つ目は可燃ごみ・不燃ごみとして廃棄すること。

現状は可燃ごみ・不燃ごみとして手放される割合が最も高くなっているが、再流通や回収にまわすことが重要となっている。

2022年度調査

合計  
**34%**



再流通する服



回収される服



ゴミに出される服

循環

リサイクル **15%**

リユース  
(海外輸出含む) **19%**

譲渡・バザー  
フリマアプリ  
リサイクルショップなど

再販 →

業者 ↓

資源回収

故繊維  
事業者

海外輸出等 →

ウエス・反毛  
など再資源化 →

店舗・地域回収など

焼却施設へ →

再資源化 →

可燃ごみ

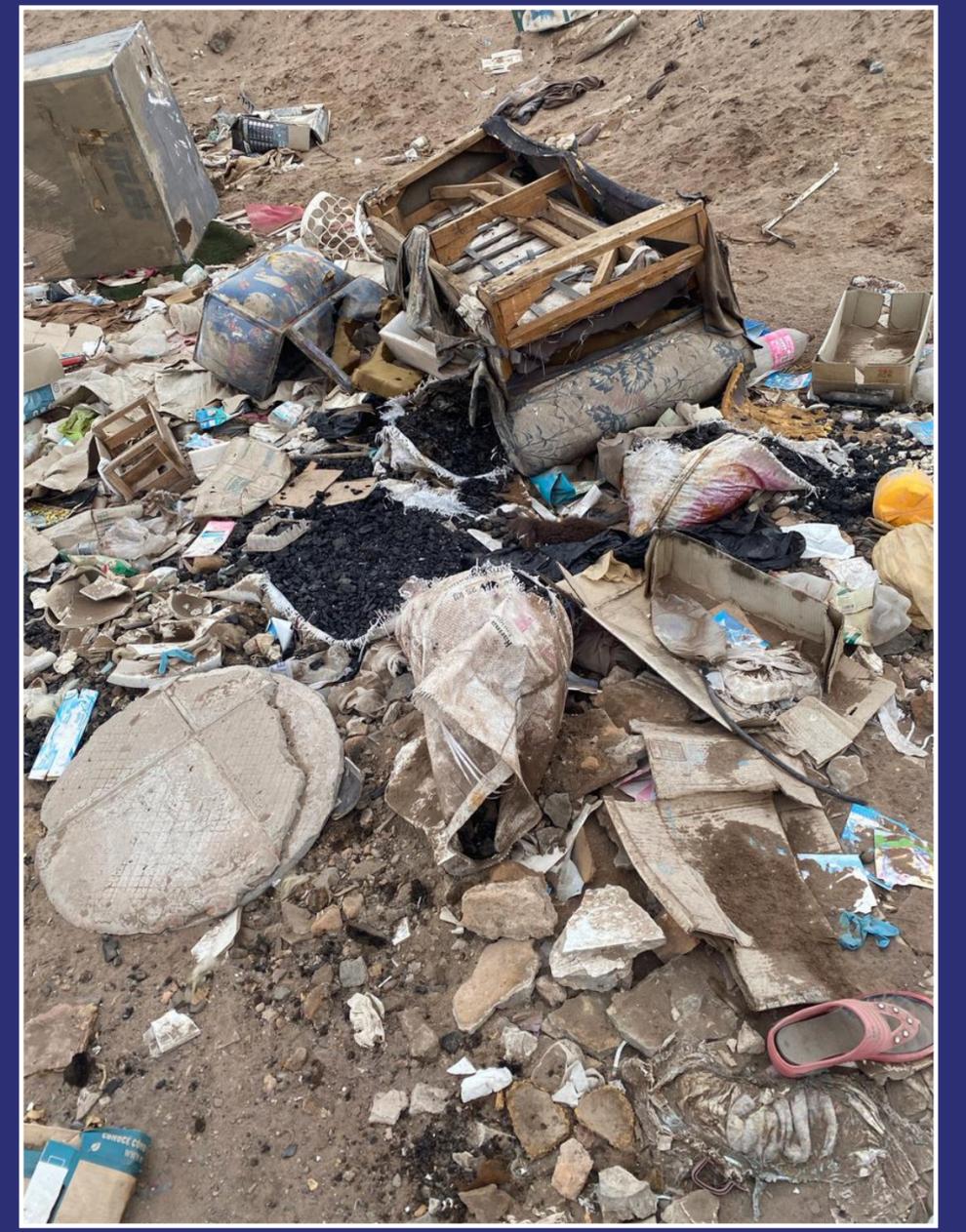
焼却施設へ →

不燃ごみ

処分・  
埋め立て  
**66%**

2022年度調査

私たちが手放した服のうち再利用・再資源化される割合はごくわずか



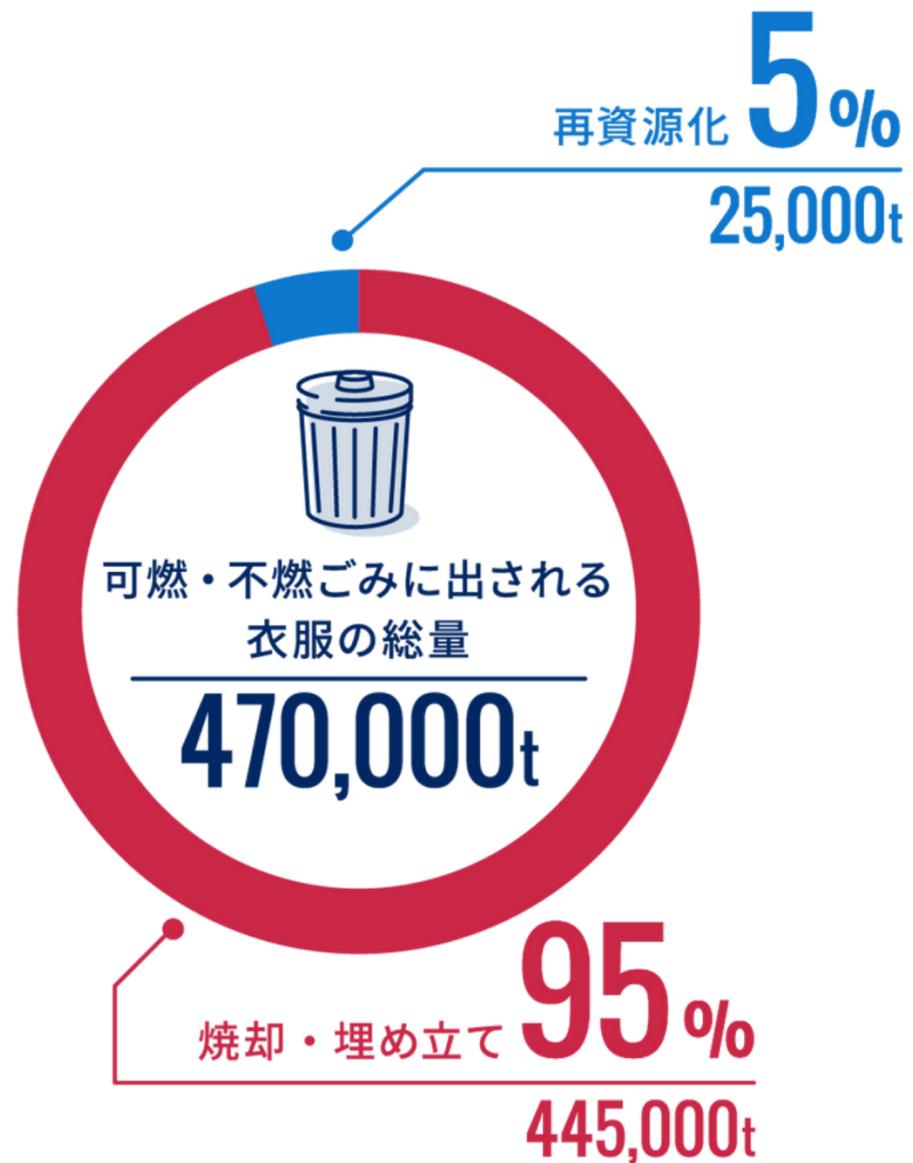
チリ・アタカマ砂漠(2023年11月、谷撮影)

## 可燃ごみ・不燃ごみとして廃棄する理由



2022年度調査

ごみに出される衣服の総量と処理方法



1日あたりに焼却・埋め立てされる衣服の総量(平均)

**1,200t/Day**



大型トラック



**120**台分

2022年度調査

服がごみとして出された場合、再資源化される割合は5%程でほとんどはそのまま焼却・埋め立て処分される。その量は年間で約45万トン。この数値を換算すると大型トラック約120台分を毎日焼却・埋め立てしていることになる。

毎日廃棄される大量の衣服を処理するためにも、環境負荷が生じており、現状を変えてゆく必要がある。

# 国際協力に対する“ピュア”

助けたい→ピュアな国際援助→思惑にはならない→視力に依存した国際協力

- 事例  
NGOやNPOを通して、途上国の子どもや女性を助けようと服を送る
- 結果  
港に無料の服が定期的に輸入され、周辺の服屋は閉店  
選ばれない服らは、同国内でゴミとして環境問題の原因となる
- 考察  
環境や状況が理解できていない支援は、  
現地の生業や暮らしを脅かす可能性がある



近年の国際協力や国際援助は、当事者側の意見を「傾聴」し、実情の支援に価値とする



# みんなの生活を事例にして、考えてみましょう

NAME

モチベーションを向上させる要因

モチベーションを低下させる要因



# ディスカッション



あなたは何で服を選んでいますか？

1. 質感

2. サイズ

3. 値段

1. 色

2. 形

3. サイズ

1. ?

2. ?

3. ?

服を買う時を事例にして、考えてみましょう

# ぼくの場合は....

1. 雰囲気
2. サイズ
3. エピソード

Clothes in Society ファッションにプリンシプルを  
CANALIZE meets Yusuke Tani | モデル、俳優、ファッション  
プランナー 谷裕介  
2019.09.28



古着屋に行って、その服の作られた時代にタイムスリップできる感覚が好きなんです。古着屋で働いている人の、ファッションに対する熱量が凄くて、それは単純に服だけじゃなく、その周辺にある音楽や映画、旅や哲学を大切にされているんですよね。古着屋の店員さんとの雑談が楽しくて、普通に会いに行って、ただ話して、帰る時とかもありました。そうしたコミュニケーションの延長で服を選んでいたことが多かったです。

好きな人がいる場所に、好きになる服があった。  
今思えば、すごく単純かもしれません。

(2019年9月28日 CANALIZEによるインタビューにて)

「服」に対する主義や考えを持つこと

## ファッションプリンシプル

?

そもそも、プリンシプルとは  
大辞林によれば、原理。原則。根本。  
もしくは、主義。信条。

# 僕らの買い物

？

モノやサービスの「価格」を買っているのではなく、  
その「価値」を買っている。

価格とは、自分が支払うもの。  
価値は、自分が得るもの。

# 選び方を深掘りしてみる

1. 質感

2. サイズ

3. 値段

4.

5.

6.

7.

1. 色

2. 形

3. サイズ

4.

5.

6.

7.

1. 着心地の良さ

2. 色

3. 清潔感

4.

5.

6.

7.

普段気付かないものの選びの基準

= あなたのプリンシプル？

1. 質感

2. サイズ

3. 値段

4.

5.

6.

7.

大きさ、長さ、色、印象、質感、存在感、形、音、味、  
香り、肌触り、機能、新規性、利便性、丈夫さ、素材  
感、必要性、話題性、値段、量、希少性、手に入りや  
すさ、意味、文脈、歴史、ストーリー、情報、相性、  
組み合わせ、重さ、可動性、派手さ、  
透明度、光沢、高級感、  
雰囲気、品、佇まい、趣、デザイン、手軽さ、独自性、  
持っていないもの、ブランド、  
支援、エコ、手に取りやすさ、憧れ、  
自己啓発、模倣、お揃い、粋、日本

選び方の深掘り



自分なりの基準を増やす



プリンシプルを持つ



選び方を持つ＝エピソード



自分と服との繋がりに気付く



自分にとっての価値が生まれる

＝プリンシプル

みんなのこだわり

理想の「服」を書いてみよう

①

②

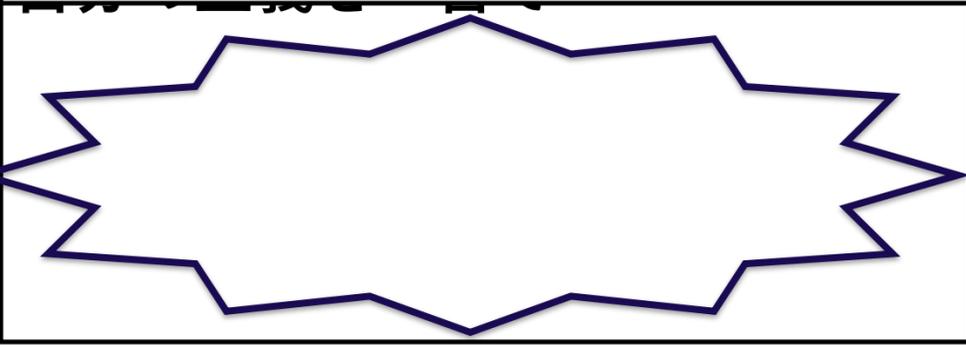
③

④

⑤

⑥

⑦



Blank writing area for drawing or writing the ideal clothing.

Blank writing area with two horizontal dashed lines for writing.

# 消費者に向けて4つの提案

- ① 今持っている服を長く大切に着よう
- ② 手を加えて愛着と物語を作ろう
- ③ 本当に必要か見極めよう
- ④ 長く着られる品質を選ぼう

# ①今持っている服を長く大切に着よう



私たちが今所有している一着をできるだけ長く着よう。  
たったそれだけで環境負荷が減らせます。現在よりも1年長く着  
ることで、日本全体として4万t以上の廃棄量の削減に繋がる。

## ②手を加えて愛着と物語をつくろう



服のお直しやリペアを施すことで、  
思い出のある一着を長く着ることができ  
古くなったと感じる服でも、少し手を加えるだけ  
で新たな魅力と共に物語が増える。

### ③ 本当に必要か見極めよう



私たちの約64%は所有する衣服の量を把握せずに服を購入しています。  
クローゼットを見直して、ちゃんと必要な服を買うようにしよう。

## ④長く着られる品質を選ぼう



一着を長く着るために品質を重視し、  
価格に見合う価値ある商品を購入しよう。  
私たちの衣類の購入単価は年々下がっているが、  
同時に着用期間も短くなっている。



もし、明日地球とお別れすることになったら、  
どんな服を君たちは選ぶだろうか

今日のファッションに  
重要なことは、  
**明確な意見や思想を  
持つことである。**

# さいごに



くらしの中で、自分自身が大切にしたい価値観を、ファッションの中に取り入れることで、型(スタイル)がうまれます。

ファッションを通して、自分の生き方を探していく道のりで、さまざまな体験をしてほしい。そして見逃さずに、考え、感じたことを大切にしてほしい。

僕も、そんな思いを胸に、旅を続けていきたい。

#服の旅人